



国立大学法人

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

プレスリリース

平成23年7月27日

永井隆博士没後60年企画展開催のお知らせ

永井隆博士の没後60年を記念して「献身」というテーマで、原爆被災や博士に関連した写真および資料の企画展を下記のとおり開催致します。

記

1. 日時 平成23年8月8日（月）～8月12日（金）10時～16時

※8月8日10時30分より

開会挨拶 松山俊文医学部長

祝辞 永井隆記念館館長 永井徳三郎

長崎医学同窓会副会長 下川 功

2. 場所 長崎大学医学部基礎棟1階ロビー（長崎市坂本1丁目12番4号）

3. 展示 ・永井隆の医療関係の写真（救護活動、医科大学講義など）

・医科大学被災写真

米国爆撃調査団が撮影した写真から10枚程度選択（写真部会所蔵）

・資料展示（オリジナル）

（「救護報告書」原本、永井博士の私信、救護班作業報告、放射線測定記録、永井博士の書と絵を数点、永井隆の著書（マニラの悲劇、生命の河初版ほか）

・歴史パネル（永井隆の医療から、チェルノブイリ、福島原発へ）

4. モニター上映

・「永井隆の生涯」

・「被爆を語る」講演会の7人分のサマリー版

福井順、久松シソノ、濱里欣一郎、川野正七、小林栄一、市丸道人、土山秀夫

【本件に関する問い合わせ先】

長崎大学医学部原研情報室 三根真理子 095-819-7127

永井隆博士没後 60 年企画展

テーマ「献身」

長崎大学医学部原爆死没者慰霊祭に併せ、永井隆博士の没後 60 年を記念して「献身」というテーマで、原爆被災や博士に関連した写真および資料の企画展を開催致します。被爆直後に書かれた救護活動の記録である「原子爆弾救護報告書」を元にした、博士の著書「長崎の鐘」には、科学的精神の重要性と理性を越えた霊性が大切にされています。長崎、広島原爆被災からの人々の救済と復興に込められた博士の精神は、いま未曾有の原発震災に見舞われた福島に生かされようとしています。

本企画は原研施設が大切にしてきた永井隆精神の一端に触れ、一人ひとりの行動規範に「如己愛人」の心を基本とする「献身」を忘れないで欲しいとの願いを込めています。

主催

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科附属 原爆後障害医療研究施設

放射線診断治療学

NPO 法人 長崎如己の会

協賛：公益財団法人長崎平和推進協会写真資料調査部会

展示期間：平成 23 年 8 月 8 日（月）～8 月 12 日（金）10 時～16 時

場所：医学部基礎棟 1 階ロビー

実行委員長：永山雄二（原爆後障害医療研究施設長）

実行委員：松山俊文、朝長万左男、相川忠臣、上谷雅孝、高村昇、大津留晶、永井徳三郎、横田賢一、三根真理子

【展示】

1. 永井隆の医療関係の写真（救護活動、医科大学講義など）

2. 医科大学被災写真

米国爆撃調査団が撮影した写真から 10 枚程度選択（写真部会所蔵）

3. 資料展示（オリジナル）

- ・ 「救護報告書」原本
- ・ 永井博士の私信
- ・ 救護班作業報告
- ・ 放射線測定記録
- ・ 永井博士の書と絵を数点
- ・ 永井隆の著書（マニラの悲劇、生命の河初版ほか）

4. 歴史パネル（永井隆の医療から、チェルノブイリ、福島原発へ）

【モニターで上映】

「永井隆の生涯」

「被爆を語る」講演会の 7 人分のサマリー版

福井順、久松シツノ、濱里欣一郎、川野正七、小林栄一、市丸道人、土山秀夫